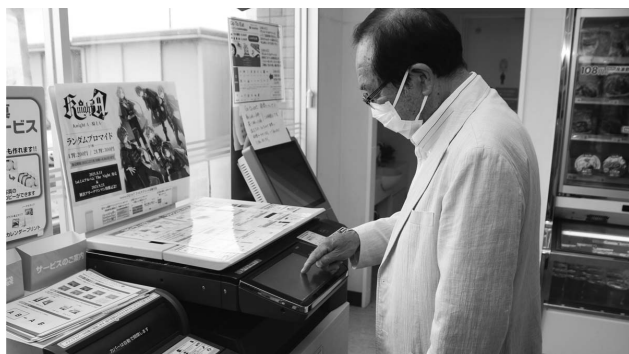


証明書の『コンビニ交付サービス』開始！



8月1日(日)から全国のコンビニエンスストアなどのマルチコピー機で、マイナンバーカードを利用して住民票の写しなどを取得できるようになりました。大橋孝町長が住民票を取得し、「操作は簡単なので誰でも使える。近くのコンビニで住民票がとれるのは非常に便利で、人との接触も減るのでコロナの感染対策にもなる」と町民の皆さまに広く利用されていくことに期待を込めました。

子どもたちの安全を守るために



8月2日(月)に町教育委員会教育総務課、養老小学校、養老こども園、町建設課、大垣土木事務所、養老警察署、養老地区交通安全協会が合同で通学路などにある危険箇所を点検しました。通学路から危険箇所を無くすために、なにが原因で危険なのか、どのような対策を取れば安全に通ることができるようになるのかを協議しました。

この取り組みは『通学路交通安全プログラム』として各地区で実施され、子どもたちの通学路の安全を守っています。

実際に歩いて、ウォーキングマップの巡回点検



町教育委員会生涯学習課と町スポーツ推進委員会ウォーキング部会、各地区体育振興会は、令和2年度に作成された各地区のウォーキングマップコース上の史跡・文化財や危険箇所、トイレ、休憩場所の確認をしています。7月25日(日)には笠郷地区ウォーキングマップ上のルートを実際に歩きました。

町スポーツ推進委員会の伊東幸芳会長は「ウォーキングマップを利用し、皆さまにもウォーキングを安全に楽しんでほしい。交通安全はもちろん、こまめに水分補給を行い、熱中症にも注意して歩いてください」と注意を呼びかけました。